

事務事業評価シート(事後評価)

事業コード 10-7-1	事務事業名 図書館管理システム事業	所管部課 教育部 図書館
-----------------	----------------------	-----------------

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等
	図書館管理システム及びICタグシステムを使用した予約棚システムの一体的な運用により、図書館利用者の利便性の向上と図書館内部の事務処理の効率化を図ることを目的とする。	<input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等／補助の概要：補助団体の概要（団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等）、補助金の概要（国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額）等 ※該当する予算事業名・節目を明記する 【事業内容・実施方法等】 図書館機能の充実のため、平成13年度から図書館管理システムを導入するとともに、平成20年度にICタグシステムを、平成23年度には予約棚システムを導入し、一体化した運用を行っている。平成25年度に導入した第3期図書館管理システムは、利用者用検索機や図書館ホームページでの書影などの視覚効果や、予約や貸出のための操作性の向上など、利用者の興味を喚起するような機能を付加したシステムで、ICタグシステム及び予約棚システムと連動するものとした。（予約棚システム：図書館資料にICチップを内蔵したタグを貼付し、自動貸出機とセキュリティゲートによる管理を行うもの）。なお、予約棚システムの導入館は現在4館（中央図書館、保谷駅前図書館、柳沢図書館、ひばりが丘図書館）となっている。 （予算事業名：10.05.03.06 図書館システム事業費）	
事業開始時期	合併前	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

事業費データ	項目		単位	25年度	26年度	27年度	28年度
	事業費(A)				34,402	30,033	32,040
財源内訳	国庫支出金・都支出金						
	地方債	千円					
	その他 ()						
一般財源			34,402	30,033	32,040	29,602	
所要人員(B)		人		0.92	0.27	0.38	0.38
人件費(C)=平均給与×(B)		千円		7,301	2,217	3,016	3,154
臨時職員賃金等(C')		千円					
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')		千円		41,703	32,250	35,056	32,756
単位当たりコスト							
(E)=(D)/ (個人貸出者数)		千円		0.05	0.03	0.04	

評価指標の設定	活動等指標		単位	25年度	26年度	27年度	28年度
	① 個人貸出者数	実績値	人	915,414	938,345	938,340	
② 個人貸出数	実績値	冊	2,212,808	2,231,453	2,280,593		
《指標の説明・数値変化の理由 など》 ②個人貸出数：書籍・雑誌・AV資料などの貸出総数							
一次	成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	28年度
	自動貸出機利用率	目標値	%				
実績値		%		86.8	87.7	88.1	
二次	自動貸出機での貸出数 (予約資料)	目標値	件				
		実績値	件	428,750	451,059	468,504	
《指標の説明・数値変化の理由 など》 予約棚導入館(4館)での自動貸出機による貸出点数を指標とする。個人貸出点数実績と比較しても予約棚システムの浸透が進んでいることがわかる。							

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	図書館サービス満足度において、「自動貸出機」「予約」「館内検索機での蔵書検索」の4項目は、図書館利用者の90%以上が「満足」と回答している。(平成25年度利用者アンケート)	
	都内26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	<input checked="" type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下	多摩26市の中では、西東京市図書館は貸出冊数6位、有効登録者数4位、予約受付冊数1位である。
	代替・類似サービスの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	代替・類似サービスはない。

【一次評価】

検証項目		ランク	一次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度(緊急性)	2	<input type="checkbox"/> 拡充	<p>平成25年度に導入した第3期の図書館管理システムでは、コストを抑えながら利用者が興味を喚起するような機能を付加したシステムの構築を行った。</p> <p>利用者用検索機では本の表紙を表示することで、利用者の視覚的な操作性の向上を図っている。また、図書館ホームページでは、子ども、10代YA、成人、ハンディキャップといった対象別のコンテンツ等を作成し、多面的に情報を提供する仕組みを構築した。他市の個人貸出数が減少傾向にある中、西東京市では、システムの利便性の向上により、予約や貸出数にも効果が表れており、利用が増加する傾向にある。</p> <p>今後は、子どもの居場所作りなど、子どもの読書環境の整備充実に加え、地域課題解決のための環境を整備するとともに、情報サービス向上のため、図書館ホームページを利用した情報発信の充実や地域・行政資料室所蔵のデジタルデータの活用などを検討し、費用対効果等も検証しつつ、更なる充実を図っていきたい。</p>
	事業の必要性	2	<input checked="" type="checkbox"/> 継続実施	
	事業主体の妥当性	3	<input type="checkbox"/> 改善・見直し	
B	直接のサービスの相手方	2	<input type="checkbox"/> 抜本的見直し	
	事業内容等の適切さ	2	<input type="checkbox"/> 休止	
	受益者負担の適切さ	3	<input type="checkbox"/> 廃止	
C	市民ニーズの把握	2	<input type="checkbox"/> 廃止	

検証項目の見方 A: 事業実施の意義を検証する項目 B: 事業の内容・実施方法を検証する項目 C: 市民ニーズの反映度を検証する項目

【二次評価】

検証項目		ランク	二次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度(緊急性)	2	<input type="checkbox"/> 拡充	<p>他市の個人貸出数が減少傾向にある中、本市では、図書館管理システムの導入や付加機能の構築などにより、予約や貸出数が増加しており、大いに評価できる。</p> <p>今後も、幅広い読者層に対する様々なツールを利用した情報発信や興味喚起などを行うとともに、費用対効果の検証を行いつつ、読書環境や生涯学習環境の充実にも努められたい。</p>
	事業の必要性	2	<input checked="" type="checkbox"/> 継続実施	
	事業主体の妥当性	3	<input type="checkbox"/> 改善・見直し	
B	直接のサービスの相手方	2	<input type="checkbox"/> 抜本的見直し	
	事業内容等の適切さ	2	<input type="checkbox"/> 休止	
	受益者負担の適切さ	3	<input type="checkbox"/> 廃止	
C	市民ニーズの把握	2	<input type="checkbox"/> 廃止	

検証項目の見方 A: 事業実施の意義を検証する項目 B: 事業の内容・実施方法を検証する項目 C: 市民ニーズの反映度を検証する項目

【外部評価】

外部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	(対象外)

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>本市は、ICタグシステムや予約棚システムと、図書館管理システムを連動させることで、利便性の向上を図るとともに、検索画面における書影掲載を行うなど、利用者が本に対して興味を喚起できる仕組みの充実を行っており、多摩26市における貸出冊数、予約受付冊数はいずれも上位となっている。</p> <p>今後は、費用対効果の検証と併せ、デジタルデータの活用なども検討しつつ、読書環境や生涯学習環境の更なる充実にも努められたい。なお、図書館はこれまでの本を貸し出すといった機能に加え、子どもの居場所づくりや高齢者の交流の場としての機能など、全世代対応の観点から多様な機能を確保するなど、環境の充実を図られたい。</p>

【改善の方向性・スケジュールと改善実施にあたっての課題】

改善の方向性・スケジュール	<p>◇平成29年度</p> <p>①システムの費用対効果について検証を行う。</p> <p>②デジタルデータの活用について検討を行う。</p> <p>◇平成30年度</p> <p>検討結果を踏まえた対応を行う。</p>
---------------	--